

## —原発の寿命延長を狙うメルケル政権に対抗するドイツの反原発運動—

# 12万人で2つの原発を結ぶ120キロの「人間の鎖」

チェルノブイリ原発事故24周年に合わせ、4月24日に、ドイツのシュレスヴィヒ＝ホルシュタイン州のクリュッメル原発とブルンスビュッテル原発の間120キロを人間の鎖で結ぶ壮大な計画が実行され、12万人の参加で実現した。主催者は、「成功した。反原発の鎖はエルベ川沿いにハンブルクを横切って120キロに及んだ。2つの故障続きの原発は停止されなければならない。他の原発もそうだと語った。2つの原発では、プルサーマル導入の際にも激しい反対運動があった。反原発運動の批判は今原発の稼働期間を延長する政府の計画に向けられている。



ドイツでは、昨年9月に、連邦議会選挙の結果を受けて、メルケル首相のキリスト教民主社会同盟が社会民主党との大連立を解消し、自由民主党との中道右派政権が成立した。メルケル政権は、社会民主党と緑の党の連立政権下で決まった原発の稼働期間を32年に限定して脱原発を進める動きにブレーキをかけ、原発の寿命延長を狙っている。選挙では大連立下で妥協を重ねた社会民主党の支持率が大幅に低下した。このような中で復活の動きをみせているのが、ドイツの強力な反原発市民運動である。

120キロもの人間の鎖をやるという発想に驚くが、それをやってのけてしまうところもすごい。今回の人間の鎖は、1983年にNATOの軍備増強



に反対した市民がシュトゥットガルトとノイウルムの間でつくって以来の規模だという。人間の鎖の難しいところは各所で人が必要などところだが、そのため、ベルリンやハンブルクなど大きな都市からは3本の特別列車が出て、ドイツ各地から240本のバスが走り、124ヶ所のポイントに人を集めたという。本番の前には、ベルリンやミュンヘンで、予行演習となる数百～数千人規模の集会や人間の鎖行動が行われた。ノルトライン・ヴェストファーレン州アーハウスにある中間貯蔵施設の前でも、数千人の抗議デモがあった。

今回だけでは終わらない。環境団体、市民運動、労働組合、政党の幅広い連合からなる主催者は、「もし連邦政府が原子力政策を改めなければ、抗議と抵抗の連邦規模の連鎖反応を引き起こすだろう」と述べている。反核組織は全国で即座に行動を広げると宣言した。10月2日には広範な大行動も計画されている。11月に予定されている放射性物質輸送は幅広い抵抗に遭うだろう。ドイツの運動に力をもらいながら、日本での運動を進めていこう。

(写真はいずれも主催者のHPより)

主催者のHP <http://www.anti-atom-kette.de/home.html>

宣伝映像 [http://www.youtube.com/watch?v=D0JeyYU1qH0&feature=player\\_embedded](http://www.youtube.com/watch?v=D0JeyYU1qH0&feature=player_embedded)

ニュース映像 [http://www.youtube.com/watch?v=YcDwIoNhMWA&feature=player\\_embedded](http://www.youtube.com/watch?v=YcDwIoNhMWA&feature=player_embedded)